

優和のミニかわら版

(この資料は全部お読みいただいても60秒です)

自己啓発本の通りにいかない理由 ～ 夢をかなえるゾウ より ～

「期待は感情の借金やからなあ」

これは「夢をかなえるゾウ」(水野敬也著)の一節です。「夢をかなえるゾウ」は2007年に出版され、小栗旬氏主演でテレビドラマにもなったベストセラーです。この物語の主人公はどこにでもいるサラリーマン。彼は自己啓発の本を読んだり、意を決してインドに行って自らを変えようとしますが、失敗ばかり。ある時、彼の目の前に現れたガネーシャ(ゾウの姿をしたインドの神様)が大阪弁で彼に成功の秘訣を教えていきます。そして彼が少しずつ成長していく自分に気づき、「今度こそ変われる」と期待し始めた時にガネーシャが彼に言った言葉が冒頭の「期待は感情の借金やからなあ」です。

ガネーシャいわく「期待」とは、

「(自己啓発の本等を読んで)まだ何も苦労してへんのに、成功するかもしれへん『高揚感』を前借して気持ちよくなってんねんね。でもそのうちそんな簡単に成功でけへんという現実におちあたる。そんなとき『先に気分良くなってきたんやから、その分返してもらいましょ』って返済を迫られて凹むことになるわな。これを繰り返すことで、どんどんやる気がのうなっていく」

「そうやって人は夢を失くしていくんやで」

「期待している限り、現実を変える力は持てへんのだ」 (以上、本文からの抜粋)

「期待」することは別に悪いことではありませんが、それだけでは現実是不変であるということですね。ガネーシャはいいます。「自分で行動して経験した時だけ人は変わる」と。

ガネーシャの教え

1. 靴を磨く	13. 自分の苦手な事を人に聞く
2. コンビニで(お釣りを)募金する	14. 夢を楽しく連想する
3. 食事は腹八分目にする	15. 運が良いと口に出して言う
4. 人の欲しがる物を先取りする	16. (何かを)ただでもらう
5. 会った人を笑わせる	17. 明日の準備をする
6. トイレ掃除をする	18. 身近にいる大切な人を喜ばせる
7. まっすぐ帰宅する	19. 人のいい所を見つけて褒める
8. その日ががんばった自分を褒める	20. 人の長所を盗む
9. 一日何かをやめてみる	21. 求人情報誌を見る
10. 決めた事を続けるための環境を作る	22. お参りに行く
11. 毎朝、全身鏡を見て身なりを整える	23. 人気店に入り、人気の秘密を観察する
12. 自分の得意な事を人に聞く	24. プレゼントをして喜ばせる